

T3-3VXX 組立説明書

この度はナガラT3-3VXXをお買い上げいただき、まことに有難うございます。
このアンテナは、入念に設計された10/18/24MHz帯用高性能3エレメント八木アンテナです。
組立に先立ち、この組立説明書をよく読んでアンテナの構造や組立方を十分理解してください。

↑↑↑↑ PROFILE ↑↑↑↑

1) **高効率**
10・18・24MHzともに3エレメントで動作します。
移相エレメントを採用した高効率トラップを使用し、モノバンドに全く劣らない効率を確保。
バンドエッジまで切れのよいビームパターンと効率。

2) **高耐電力**
送信機出力 5KwCWに耐える高耐電力設計です。

1) その他仕様

| | |
|------------|---|
| 周波数 | 10・18・24MHz帯 |
| 型式 | 3エレメントYagi 各バンド 3エレメント動作 |
| 最大エレメント長 | 11.52m |
| ブーム長 | 5.48m |
| 風圧面積 | 1.34㎡ |
| 回転半径 | 6.41m |
| 最大空中線入力 | 5KwCW |
| 重量 | 23.84Kg |
| 最大適合マスト径 | 61mm |
| 利得 | 10MHz : 6.95dBi 18MHz : 7.55dBi 24MHz : 8.45dBi |
| VSWR及び指向特性 | 添付図参照 |

NAGARA

株式会社 ナガラ電子工業

NDK-INST 02069

§§§§ 組立に先だって §§§§

*各部品の切断面や端面が鋭くなっている箇所がございます。呉々もケガをされないようご注意ください。

*部品表と各パーツとを照合し不足が無いことを確認してください。

- *組立順序
- (1) ブームの接合
 - (2) エレメントサポート及び各ラジエーター中央部エレメントの組立
 - (3) ディレクター、リフレクターエレメント中央部の組立
 - (4) トラップキャパシターと先端エレメントの組立
 - (5) エレメントをブームに取付
 - (6) 移相エレメントの取付
 - (7) バラン、スタブエレメント、及びスタブキャパシターの取付
 - (8) テナコートの塗布
 - (9) タワーへ取付

*このアンテナは3組のエレメントから構成されています。前から順にそれぞれ 緑、赤、黄の カラーマー
クが付けられています。エレメントは前から順に ディレクター、ラジエーター、リフレクター と呼びます。

*多人数で作業を行うときは必ずリーダーを決めその人の指図で作業を進めて下さい。

各自がばらばらに行くと組立ミスが発生します。

リーダーは必ず他のメンバーの作業の仕上がり具合を責任をもってチェックして下さい。

*パイプの差込み部にテナメイトを塗布して下さい。

尚ここに砂やほこりが絶対に付かないよう注意してください。パイプどうしが抜き差し出来なくなります。

*スタブエレメントと他のパーツ(エレメント、ビス等)との接合部にも付属のテナメイトを塗布してく
ださい。セルフタップネジにもテナメイトを塗布して下さい、ねじ込みが楽になります。

*テナコートの塗布は金属部のみとし、プラスチックには塗らないで下さい。

§§§§ 組立作業手順 §§§§

1. 「ブームの組立」 図1参照

*ブームは3本に別れ、それぞれにエレメント位置を示すカラー・マークが記されています。

ブームBは前後どちらにも付きますのでカラー・マークを必ず確認して前後が逆にならないように注意し
て下さい。

□ 2本のブームスプライス(36)の約半分にテナメイトを塗り、ブームB(34)の両側に差込み、止め穴
(6.5mm)を合わせM6x60ネジ(37)とM6ロックワッシャー(38)M6ナット(39)で取り付けます。

□ ブームBに取り付けたブームスプライスにテナメイトを塗り、ブームBの方向を間違えないよう
ブームA(33)とブームC(35)を両側に取り付けます。

□ M6x60ネジをしっかりと締め付けて下さい。締め付けが緩いと後でネジ穴のガタの分だけエレメン
トの水平がズレることがあります。

□ ブームBのセンターマーク位置にマストクランプ(43)を51x95Uボルト(46)を2本使い、8-18平ワ
ッシャー(51)、5/16スプリングワッシャー(48)と5/16ナット(49)で取り付けます

□ ブームの両端に51mmキャップ(37)をはめ込みますが、後の作業をしやすくするためアンテナ組立完
了後に行います。

* トラップキャパシターは3種類6本とも同じような形をしていますが各種類ごとに特性が違いますので
間違えないようにして下さい。 又、左右対称になっている物もありますが組立の穴位置が違いますので、
カラーマークが必ずブーム側に来るように組立して下さい。

**★エレメントを組み立てる前に3組のエレメント、トラップ、移相エレメントをカラーマークごとに分類し混ぜり合わないよう
に仕分けして下さい。**

2. 「エレメント・サポートとラジエーターエレメントの組立」 図2参照

□ インシュレーター(3)をエレメント・サポート(1)にM5x20ネジ(4)及びM5ロックワッシャー(7)で取
り付けます。

この時、M5x20ネジ(4)は強く締め付けないでインシュレーター(3)が軽く動く程度にしておきます。

□ エレメント・サポート部のインシュレーター(3)の上にエレメント(10)を乗せ、エレメント先端の取付穴
(3.7mm)が下を向く様にM5x50ネジ(6)及び、M5ロックワッシャー(7)で取り付けます。

ブームに近いネジは後でフェーズズライン等を取り付けますので、今はあまり強く締め付ける必要はあり
ません。

□ インシュレーター取付ネジM5x20ネジ(4)を増し締めし、エレメントを固定します。

□ エレメントサポート補強材(2)をエレメントサポートに穴を合わせ、M5x35ネジ(5)とM5ロックワ
ッシャー(7)とM5ナット(8)で固定します。

3. 「ディレクター・リフレクターエレメント中央部の組立」 図3参照

- エレメント25.40x1790(18)緑、黄の差込部分(カラーマーク側)に薄くテナメイトを塗布します。
- 中央が2重のエレメント28/32x1826(17)緑、黄にテナメイトを塗布したエレメント(18)の色を合わせ、注意深く差込み、ネジ穴をあわせ4 x 8セルフネジ(52)で締め付けます。セルフタップネジにもテナメイトを塗って締め付けてください。
- 各エレメントの差込み部が長いので、砂やほこりに十分注意し、パイプどうしを咬み込ませないよう作業を進めて下さい。

4. 「トラップキャパシターと先端エレメントの組立」 図4参照

- *各トラップキャパシターを取り付ける前に移相エレメント留金具(大)(29)をそれぞれの2.5.4エレメントパイプに通しておいて下さい。
- 各色2.2.2エレメントパイプ(11)(19)(23)をそれぞれ色を合わせ2.5.4パイプに差込、4 x 8セルフタップネジ(52)で組み立てます。
- 各トラップキャパシターを色を合わせた各エレメントに差込4 x 8セルフタップネジ(52)で組み立てます。
- 各色1.5.8 x 7.2.7エレメント(13)をそれぞれトラップキャパシターに色を合わせ、4 x 8セルフタップネジ(52)で組み立てます。
- 各1.5.8 x 8エレメントに移相エレメント留金具(小)(30)を先に通し、続いて移相エレメント支持セット(31)も通します。
- 1.2.7エレメント(14)(21)(25)、9.5.3エレメント(15)をそれぞれ色を合わせ組み立てます。
- 各エレメントの先端に9.5.3キャップ(56)を差し込みます。

5. 「エレメントをブームに取付ける」 図9・全体図・平面図 参照

アンテナが平面上に展開出来る場所があれば、仮のマストを立て、ブームを固定し、作業を進めると、実際に取付ける状態に近い状況で組立が出来ますので、タワーに取り付けた際、きれいに仕上がります。

- *ブーム上にエレメントを図7の様に組立ます。
各トラップキャパシターのドレン・ホール(水抜き穴)が下を向く様に取り付けます。
尚ブーム上のカラー・マークにはエレメントクランプの前縁を合わせます。
- 図の様にエレメント・クランプ(42)及び5.1 x 1.1 Uボルト(45)でエレメントをブームに固定します。この時、エレメントを止めるUボルトはブームに対し斜めにならないよう注意してください。斜めになっていますとあとで振動等により緩んでしまう事があります。
- ラジエーターエレメントは図7のように5.1 x 1.2.5 Uボルト(44)2本で取り付けます。トラップキャパシターのドレンホールが下を向いていることを確認して下さい。
- 全てのエレメントが平行になるようにUボルトを締め付けてください。

6. 「移相エレメントの取付」 図5・図6・図7・図8 参照

- コの字型移相エレメント(28)の短い方の足.....トラップキャパシターに付ける。
長い方の足(カラーコード側).....移相エレメント留金具(大)に付ける。
- 大きい移相エレメント(27).....先端エレメント側に取付。
- エレメントのカラーマークに合わせ留金具を固定し、それに移相エレメントを取り付けて下さい。移相エレメント留金具大/小は各エレメントのマーク位置に必ず固定して下さい。コ字形移相エレメントは垂直に、大きい移相エレメントは水平に付きます。

7. 「キャップの取付」と「移相エレメントの修正」

- ブームの両端に5.1mmキャップ(57)を差込みます。
- 各移相エレメントがエレメントに対して垂直になるようにクランプの位置を修正して下さい。

8. 「給電部の取付・・・ラジエーター」 図10・図11・図12・図13 参照

- *組立順序 1) 専用バランの取付。
2) スタブキャパシターの取付
3) スタブエレメントの取付
- 図8を参照しバラン・リード(61)と取付金具(62)をバラン(60)に取り付けます。

- この時M5ナットをあまり強く締め過ぎますとバランのネジが共回りしバランを壊してしまいますから締すぎない様注意して下さい。「締め付けトルク 10Kg/cm以下」
- ♥バランの周りが狭いので給電側の同軸ケーブルの防水処理がバランを取り付けた状態では困難です。
 - 同軸ケーブルを付けたままでマストに取付が可能な場合は、バランをブームに固定する前に同軸ケーブルをバランに取付防水処理を先に済ませてください。

- アンテナをマストに取り付けた後、同軸ケーブルをバランに取り付ける場合。今はバランをブームに固定しない状態でバランリードをスタブエレメントと共にエレメントに固定してからバラン側でバランリードを取り外しておきます。アンテナ設置後、同軸ケーブルを取付て防水処理をしたバランをバランリードと接続し、その後ブームに固定します。
- ♥コネクターの防水処理の際、バランケースと同軸コネクタとの周囲の隙間を塞がないようにして下さい。
- 図11, 図12, 図13の順に組み立てます。ラジエーターから図の説明に従って作業を進めてください。
 - *スタブキャパシターはどちら側のエレメントに付いてもかまいません。
 - *ショートスタブがブームに接地されますが、中立電位の位置ですから何ら問題はありません。

9. 「組立最終チェック」

- *各部のビスやナットを最終的に締め付けて下さい。
特にラジエーターエレメントを押さえているM5 x 5.0ネジ(6)は必ずチェックして下さい。
トラップキャパシターのドレンホールも下に向いていることを確認して下さい。

10. 「マストクランプの取付」 図14参照

- *マストクランプ関係のUボルトのみ8-18平ワッシャー(51)を使用します。
- *ブームのセンターマーク(黒)の位置にマストクランプ(43)を5.1mm x 9.5 Uボルト(46)で取り付けます。アンテナをマストに取り付けたとき、エレメントが地面に平行になるようにします。
- *マストクランプは必ず所定位置に取り付けて下さい、ブームの強度が極端に弱くなります。

11. 「テナコート塗布」

- *金属部分にテナコートを刷毛で塗布して下さい。プラスチック部には塗布しないで下さい。

12. 「タワーへ取付」 図14参照

- *再度組立に間違いが無いか確認してください。
注意深くタワー上に釣り上げて、6.0mm x 1.1.5 Uボルト(47)でマストに取り付けます。
- *エレメントが地面と平行(マストと直角)になるように5.1mm Uボルト(46)を緩め、修正して、再度締め付けて下さい。

♣アンテナの防水処理

アンテナ給電部バランのコネクタだけを自己融着テープを使って防水処理をして下さい。アンテナは本来屋外機器として設計されています。バランコネクタ部を除き、そのまま防水処理をしないで使用していただいても全く問題はございません。バランの内部やエレメントパイプ、ブームパイプの内部には、外から入る水だけでなく、温度差などにより内部で水(水滴)が発生します。これを防ぐのはテーピングやコーキングでは無理ですから、入った水や発生した水は速やかに排出出来るようにするのが適切と考えます。バランのコネクタ座とケースの隙間は水抜きスペースですので絶対に詰め物をしないで下さい。エレメントの接続部分もテーピングはしないで下さい。

株式会社 **ナガラ電子工業**

〒527-0074 滋賀県東近江市市辺町2876-2

TEL (0748) 20-1650

FAX (0748) 20-1651

NAGARA DENSHI KOGYO CO.,LTD

2876-2 ICHINOBE-CHO HIGASHIOMI-SHI 527-0074 JAPAN

TEL +81 748 20 1650

FAX +81 748 20 1651

NDK-INST 02069

| 部品番号 | 部 品 名 | 使 用 箇 所 | 数 量 | チェック欄 |
|------|------------------------|------------------------------|-----|-------|
| 1 | エレメントサポート | ラジエター | 1 | |
| 2 | エレメントサポート補強材 | ラジエター | 1 | |
| 3 | インシュレーター | ラジエター | 8 | |
| 4 | M5x20 ネジ | ラジエター | 16 | |
| 5 | M5x35 ネジ | ラジエター | 2 | |
| 6 | M5x50 ネジ | ラジエター | 8 | |
| 7 | M5 ロックワッシャー | ラジエター | 26 | |
| 8 | M5ナット | ラジエター | 2 | |
| 10 | エレメント25/28x1826 | 赤=ラジエター | 2 | |
| 11 | エレメント22.22x470 | 赤=ラジエター | 2 | |
| 12 | ラジエタートラップ・キャパシター | 赤=ラジエター | 2 | |
| 13 | エレメント15.88x727 | 赤=ラジエター、緑=ディレクター、黄=リフレクター | 6 | |
| 14 | エレメント12.7x800 | 赤=ラジエター | 2 | |
| 15 | エレメント9.53x1430 | 赤=ラジエター、緑=ディレクター、黄=リフレクター | 6 | |
| 17 | エレメント28/32x1826 | 緑=ディレクター、黄=リフレクター | 4 | |
| 18 | エレメント25.4x1790 | 緑=ディレクター、黄=リフレクター | 4 | |
| 19 | エレメント22.22x380 | 緑=ディレクター | 2 | |
| 20 | ディレクタートラップ・キャパシター | 緑=ディレクター | 2 | |
| 21 | エレメント12.7x680 | 緑=ディレクター | 2 | |
| 23 | エレメント22.22x530 | 黄=リフレクター | 2 | |
| 24 | リフレクタートラップ・キャパシター | 黄=リフレクター | 2 | |
| 25 | エレメント12.7x1080 | 黄=リフレクター | 2 | |
| 27 | トラップ用移相エレメント(大) | 各トラップ 先端側 | 6 | |
| 28 | トラップ用移相エレメント(小) | 各トラップ ブーム側 | 6 | |
| 29 | 移相エレメント留金具(大) ネジ付 | 25.4エレメント用 | 6 | |
| 30 | 移相エレメント留金具(小) ネジ付 | 15.88エレメント用 | 6 | |
| 31 | 移相エレメント支持金具セット | 各トラップ 先端側 | 6 | |
| 33 | ブームA 50.8x1826 ディレクター側 | 緑のカラーマーク付 | 1 | |
| 34 | ブームB 50.8x1826 中央 | 赤、黒のカラーマーク付 | 1 | |
| 35 | ブームC 50.8x1826 リフレクター側 | 黄のカラーマーク付 | 1 | |
| 36 | ブームスプライス 47.62x1816 | ブーム接続 | 2 | |
| 37 | M6x60ネジ | ブーム接続 | 4 | |
| 38 | M6ロックワッシャー | ブーム接続 | 4 | |
| 39 | M6ナット | ブーム接続 | 4 | |
| 41 | エレメントクランプ(大) | ラジエター~ブーム取付 | 1 | |
| 42 | エレメントクランプ | エレメント~ブーム取付 | 2 | |
| 43 | マストクランプ | アンテナ~マスト取付 | 1 | |
| 44 | 51x125 Uボルト | ラジエター~ブーム取付 | 2 | |
| 45 | 51x110 Uボルト | エレメント~ブーム取付 | 2 | |
| 46 | 51x95 Uボルト | マストクランプ ブーム取付 | 2 | |
| 47 | 60x115 Uボルト | マストクランプ マスト取付 | 2 | |
| 48 | 5/16 スプリングワッシャー | 各Uボルトに使用 | 16 | |
| 49 | 5/16 ナット | 各Uボルトに使用 | 16 | |
| 50 | 8-22 フラットワッシャー | ラジエター~ブーム取付 | 4 | |
| 51 | 8-18 フラットワッシャー | マストクランプUボルトに使用 | 8 | |
| 52 | 4x8セルフタップネジ | エレメント接続(予備5ヶ含む) | 39 | |
| 53 | スタブエレメント | ラジエター給電部 | 2 | |
| 54 | スタブ・キャパシター | ラジエター給電部 | 1 | |
| 55 | スタブ・クランプ セット | スタブエレメント後端をブームに固定 | 1 | |
| 56 | 9.53mmキャップ | 各エレメント先端に差込 | 6 | |
| 57 | 50.8mmキャップ | ブーム両端に差込 | 2 | |
| 58 | テナメイト(ペネトロックス) | パイプ挿入部、ネジ接続部に塗布 | 1 | |
| 59 | テナコート 1/6 | アンテナ全体に塗布(プラスチックには絶対に塗布しない事) | 1 | |
| 60 | 専用バラ | 第一ラジエター直後に取付 | 1 | |
| 61 | バラ用リード線 120mm | バラとラジエターの接続 | 2 | |
| 62 | バラ取付金具セット | バラをブームに取付 | 1 | |
| 63 | M5・Uボルト(ナット・ロックワッシャー付) | バラをブームに取付 | 1 | |
| 64 | 組立説明書(本書) | 本書 | 1 | |

注： 部品番号9, 16, 22, 26, 32, 40, は欠番です。

NDK-INST 02069

♥T3-3VXX 代表ビームパターン例

各バンドの代表パターン例を示します。

実際に設置された状態では付近の状況により使用感が異なります。

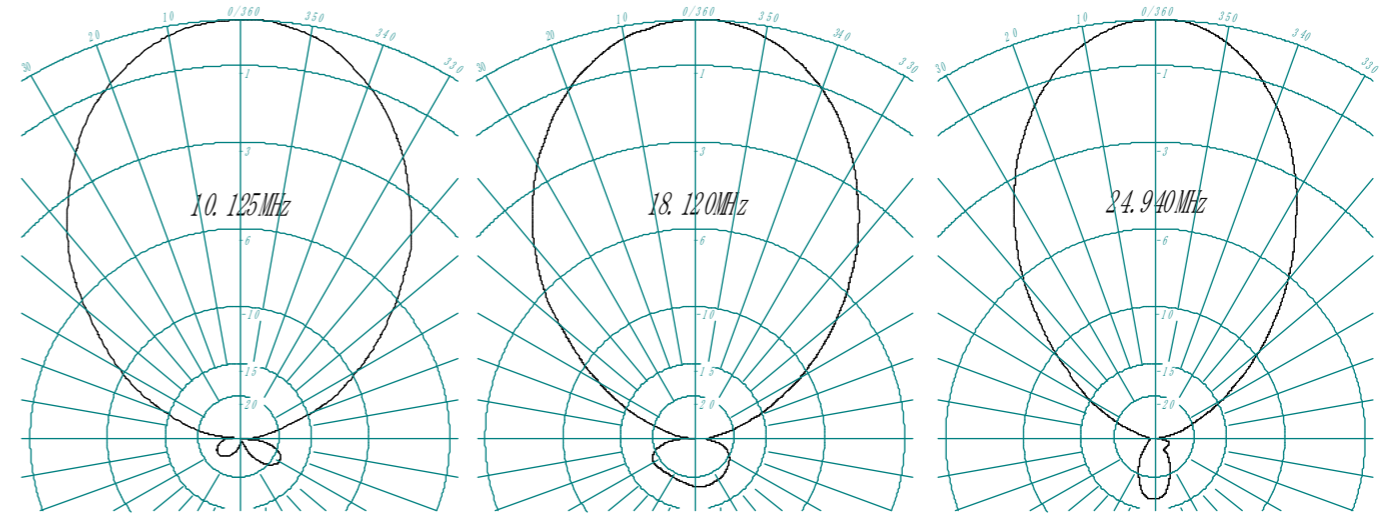
例えばアンテナから50m先でアンテナより10m下方に一本の電線があればその電線は十分大きな影響を与えます。

また、アンテナ下方のシャックの建物も同様に影響します。

アンテナに到来する電波は直接波と大地反射波及び障害物からの反射波などから成りますので、障害物からの反射波が大きいほどパターンが歪み大きくなります。 大地反射波に不均一があればこれも考慮に入れる必要があります。

ここに掲げるパターン例にも測定値での若干の反射波の影響があらわれています。

アンテナが受ける反射波を小さくするには障害物からの距離を大きくしなければなりません、設置場所を自由に選べる場合は少なく、せめて高さを可能な限り高く架設して下さい。

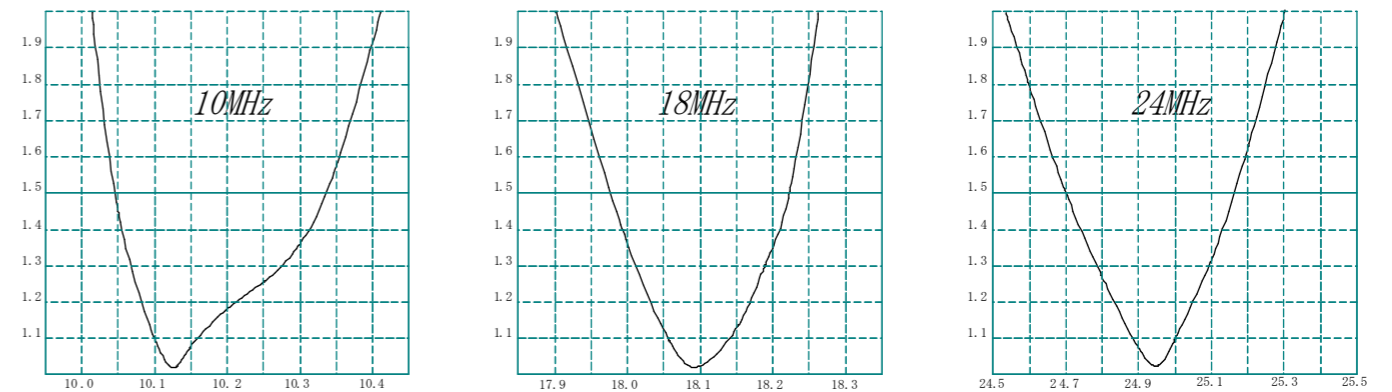


♥T3-3VXX SWR特性

各バンドのSWR特性を示します。

地上高20mに架設し周囲に大きな障害物のない状態で測定した値です。SWRは周囲の状態により異なった値を示します。同一タワーに他のアンテナを同居させる場合、他のアンテナの種類によっては大きな悪影響を受けることがありますので注意が必要です。アンテナの方向を変えるとSWRが変化するときには周囲に何か障害物があると考えられます。

使用するケーブルに損失がない場合、多少SWRが高くてもアンテナチューナーを併用すれば問題無く運用できますが、設置したアンテナのSWR特性が本例と大きく異なる場合は何処かに間違いがあると考えられますので調べてください。



(36)ブームスプライスの一端から中央までペネトロックスを薄く塗布し、砂や埃がつかない様に注意しながら
 (34)ブームBに慎重に挿入し、対応する穴を合わせ(37)M6ネジにて固定します。

ペネトロックスを塗布しなかったり砂などが付着しますとパイプ同士が噛み込み抜き差し出来なくなりますので十分注意して下さい。

(34)ブームBの他端も同様に(36)ブームスプライスを取り付けます。
 (34)ブームBから露出した残り半分の(36)ブームスプライスにもペネトロックスを塗布しそれぞれ(33)ブームA及び(35)ブームCを同様に取り付けます

黄

(1)エレメントサポートに8個の(3)インシュレータを(4)M5x20ネジ及び(7)M5ロックワッシャーを用い取付けます。最初は軽く留め(3)インシュレータが軽く動く程度にしておきます。
 (10)エレメントを(6)M5x50ネジおよび(7)M5ロックワッシャーでインシュレータに仮留めしてから改めて(4)M5x20ネジをまし締めしてください。

次に(1)エレメントサポートに(2)エレメントサポート補強材を(5)M5x35ネジ(7)M5ロックワッシャー及び(8)M5ナットで取付けます。

(37) M6x60 ネジ

1

(36)ブームスプライス

(34)ブームB

(38) M6ロックワッシャー

マスト位置 黒
赤

(39) M6ナット

(36)ブームスプライス

(36)ブームスプライス

(33)ブームA

(35)ブームC

(1) エレメントサポート

(5) M5x35ビス

2

(10) エレメント

(7) M5ロックワッシャー
(8) M5ナット

(2) エレメントサポート補強材

(6) M5x50ビス

(7) ロックワッシャー

(3) インシュレーター

(7) ロックワッシャー

(4) M5x20ビス

(17)エレメント

3

(52) 4x8セルフネジ

(18)エレメントのねじ穴付近までペネトロックスを薄く塗布し砂や埃がつかない様に十分注意し(17)エレメントに丁寧に挿入し穴位置を合わせ(52)4x8セルフネジで締付けます。

ペネトロックスを塗布しなかったり砂などが付着しますとパイプ同士が噛み込み抜き差し出来なくなりますので十分注意して下さい。

(52)4x8セルフネジの先端にもペネトロックスをつけますとネジが締めやすくなります。

(18)エレメント

Nagara T33VXX

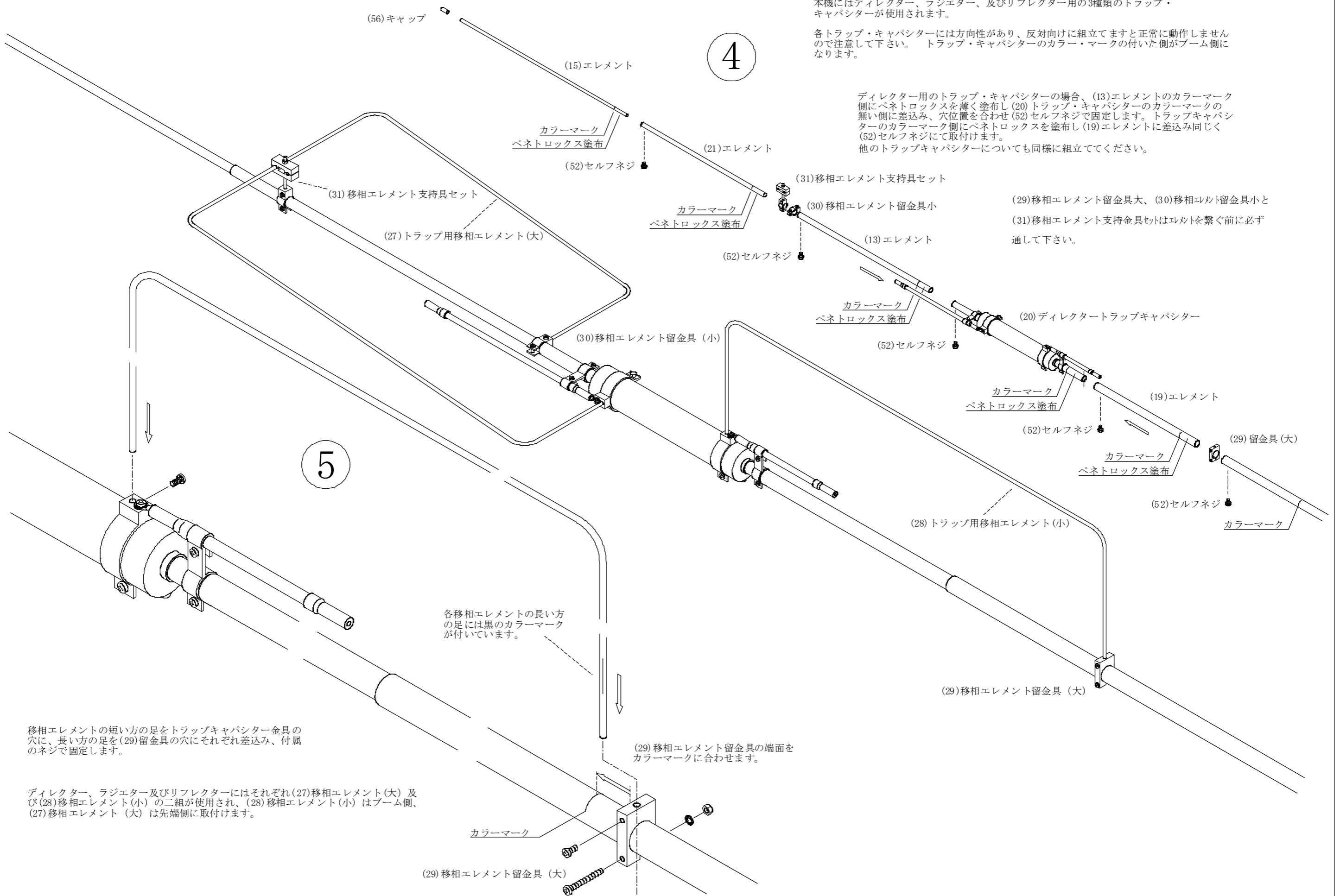
4

本機にはディレクター、ラジエーター、及びリフレクター用の3種類のトラップ・キャパシターが使用されます。

各トラップ・キャパシターには方向性があり、反対向けに組立てますと正常に動作しませんので注意して下さい。トラップ・キャパシターのカラー・マークの付いた側がブーム側になります。

ディレクター用のトラップ・キャパシターの場合、(13)エレメントのカラーマーク側にペネトロックスを薄く塗布し(20)トラップ・キャパシターのカラーマークの無い側に差込み、穴位置を合わせ(52)セルフネジで固定します。トラップキャパシターのカラーマーク側にペネトロックスを塗布し(19)エレメントに差込み同じく(52)セルフネジにて取付けます。
他のトラップキャパシターについても同様に組立ててください。

(29)移相エレメント留金具大、(30)移相エレメント留金具小と(31)移相エレメント支持具セットはエレメントを繋ぐ前に必ず通して下さい。



5

各移相エレメントの長い方の足には黒のカラーマークが付いています。

移相エレメントの短い方の足をトラップキャパシター金具の穴に、長い方の足を(29)留金具の穴にそれぞれ差込み、付属のネジで固定します。

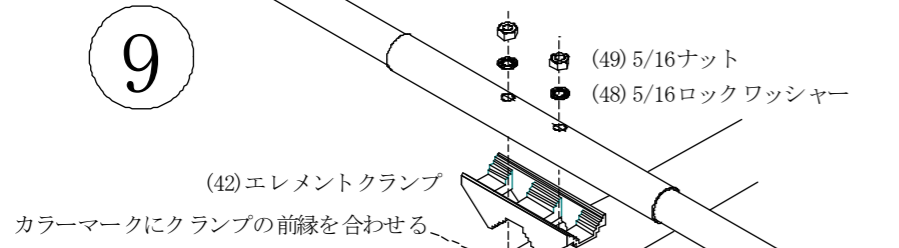
ディレクター、ラジエーター及びリフレクターにはそれぞれ(27)移相エレメント(大)及び(28)移相エレメント(小)の二組が使用され、(28)移相エレメント(小)はブーム側、(27)移相エレメント(大)は先端側に取付けます。

(29)移相エレメント留金具の端面をカラーマークに合わせます。

ディレクター/リフレクター

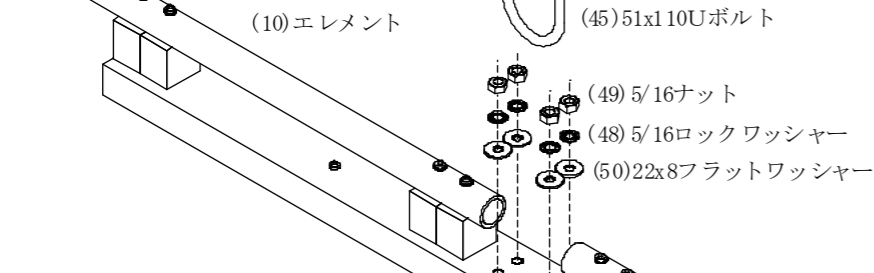
(17)エレメント

9

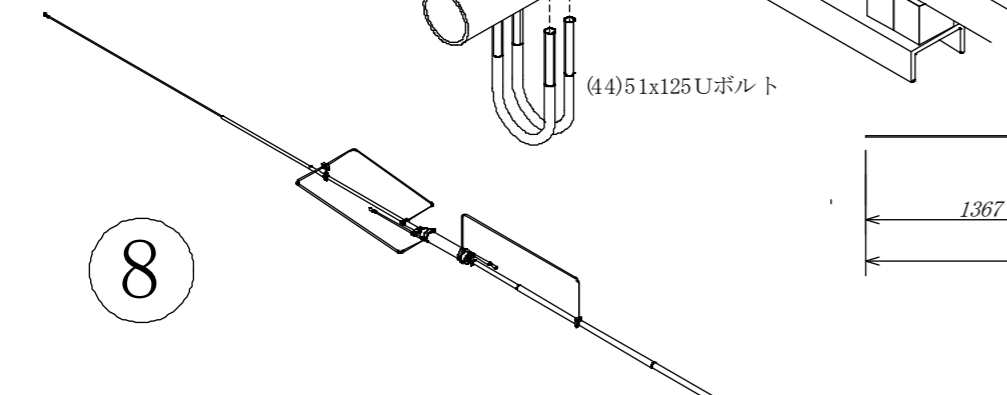


ラジエター

(10)エレメント



8



各エレメントはカラーコードに従って色毎に分類してください。この図では緑のディレクターを例に品番を付与してあります。

エレメント上のカラーマークはそのエレメントのブームに近い側に付与されています。エレメントのカラーマーク側のネジ穴付近まで約8cmにわたりペネトロックを薄く塗布し対応するパイプ(エレメント)に挿入しネジ穴を合わせ(52)4x8セルフネジで締付けます。

トラップにもブームに近い側にカラーマークが付与されていますのでカラーマーク側が必ずブーム側になる様取付けて下さい。反対向けに組立てますと正常に動作しません。

(17)エレメント

(18)エレメント

(28)移相エレメント(小)

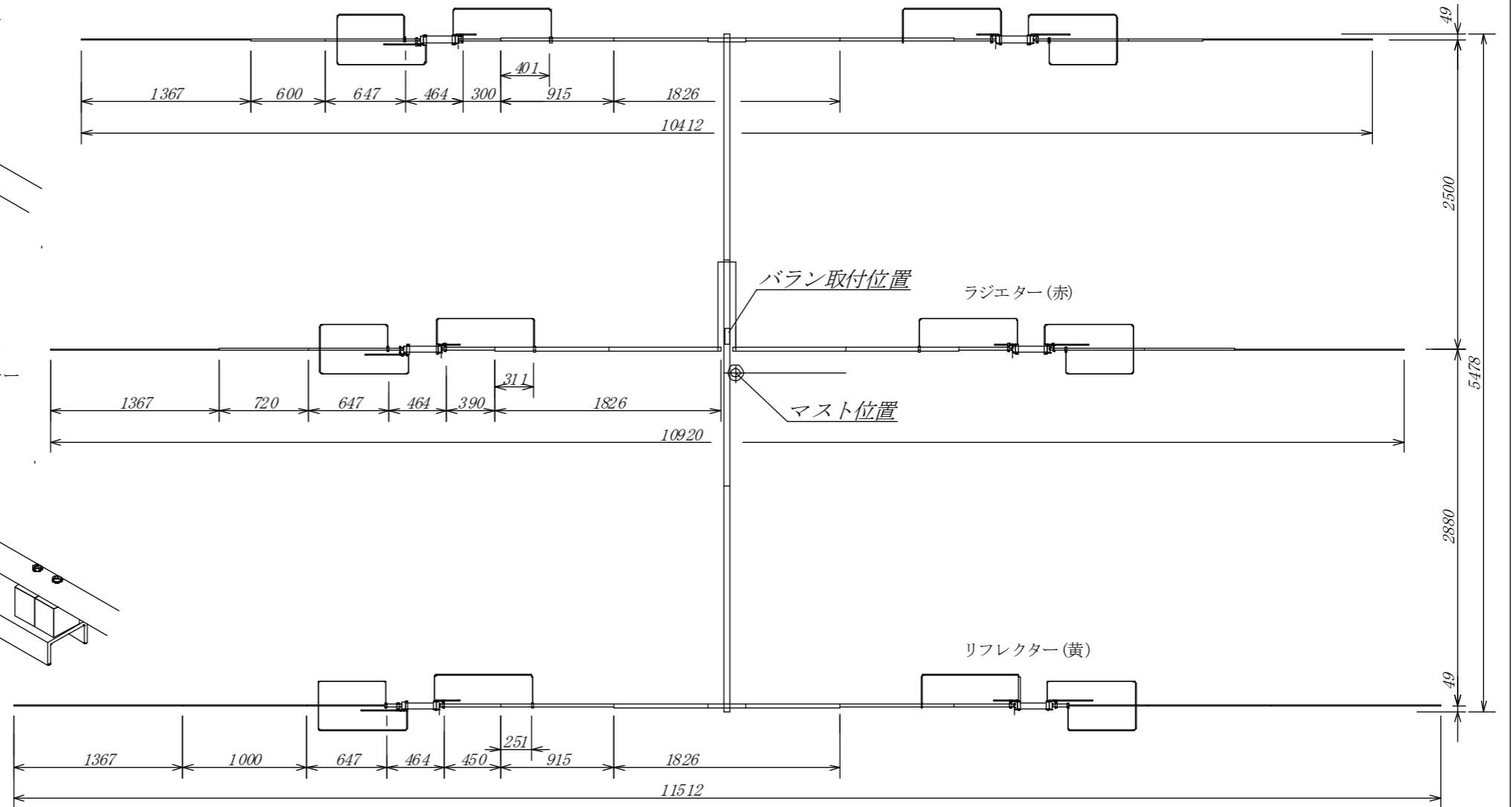
(20)トラップキャパシター

(27)移相エレメント(大)

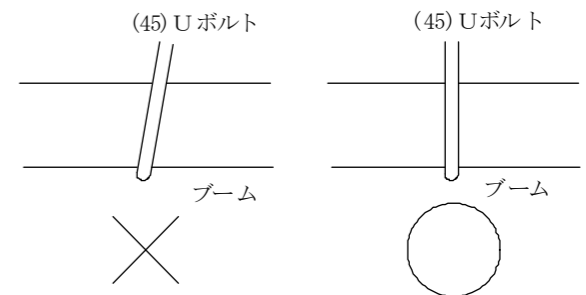
(21)エレメント

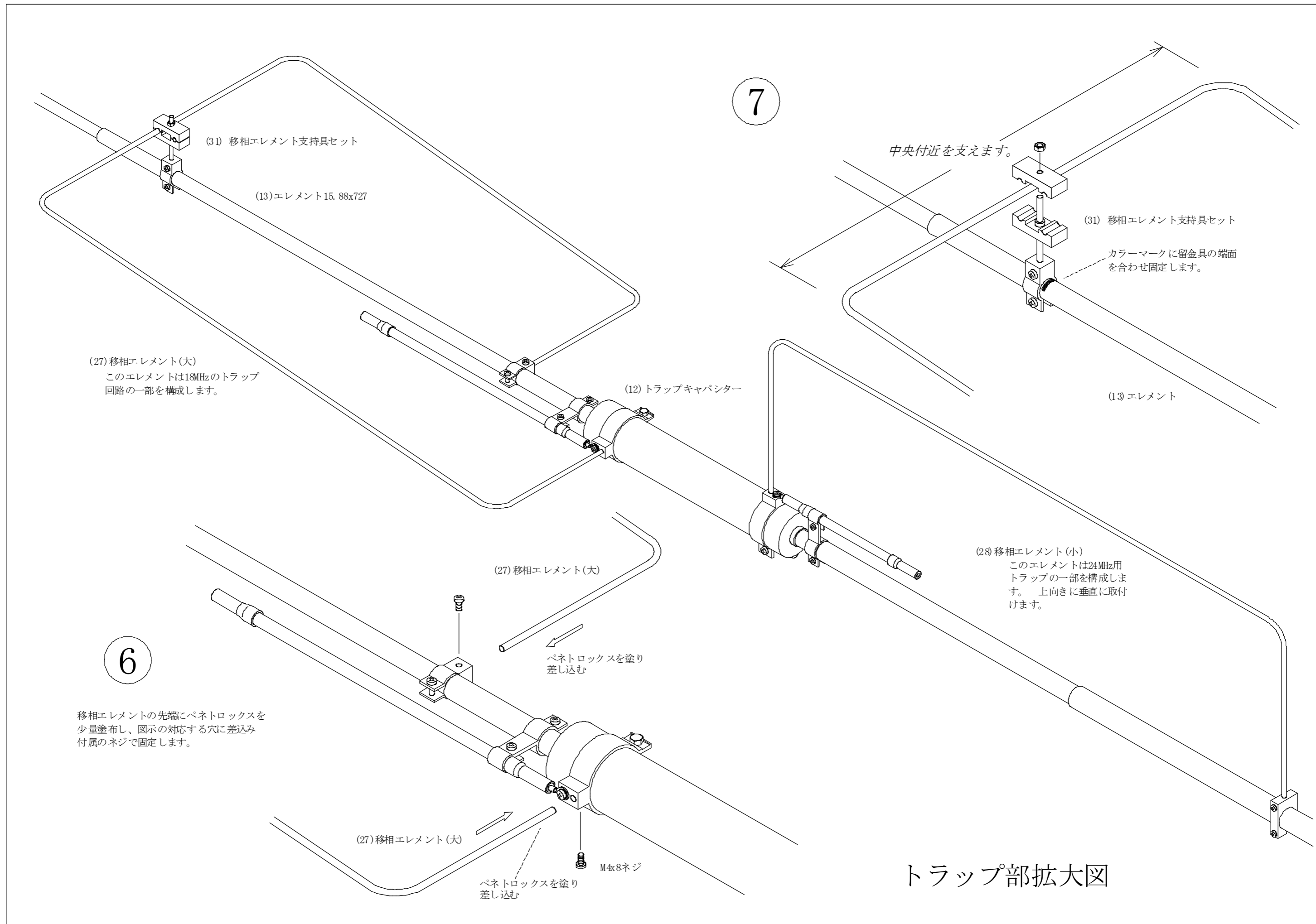
(15)エレメント

(56) 9.53mmキャップ

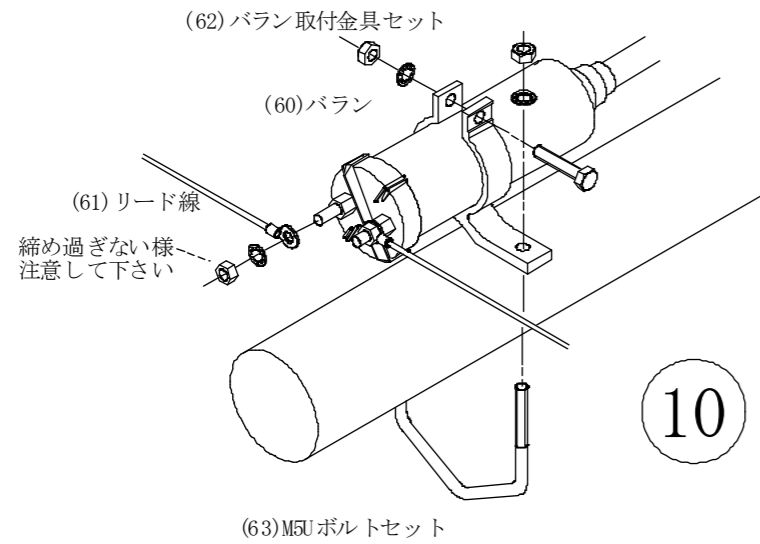


エレメントをブームに取付ける時、Uボルトがブームに垂直になる様に注意して下さい。傾いた状態で取付けますと後々ゆるんでしまう恐れがあります。

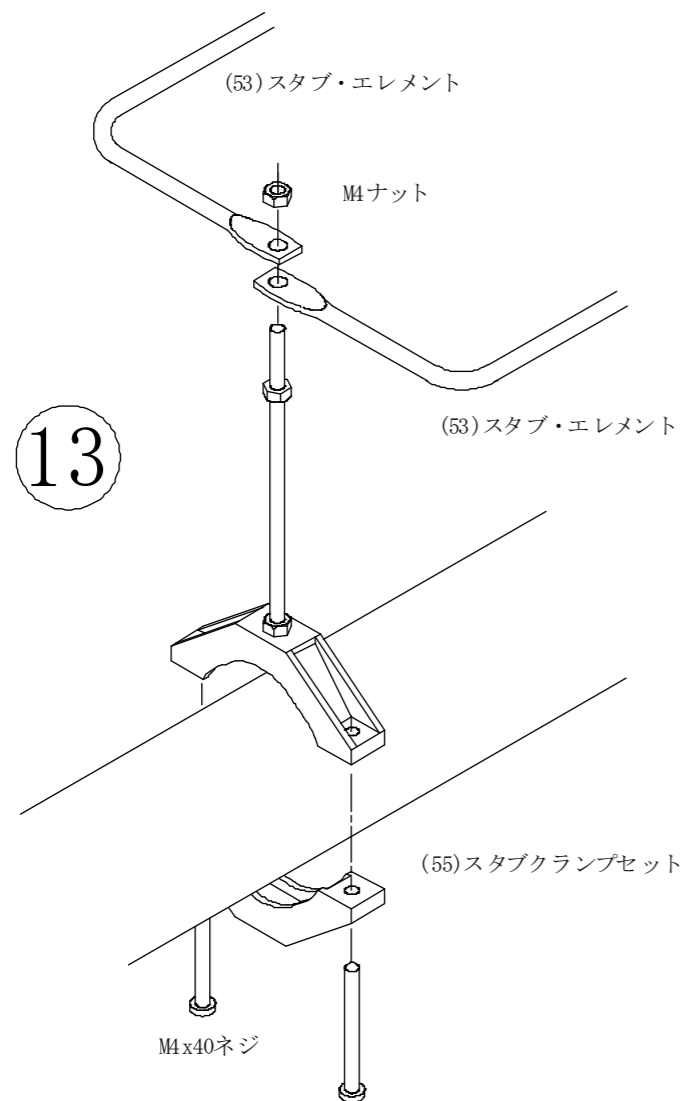




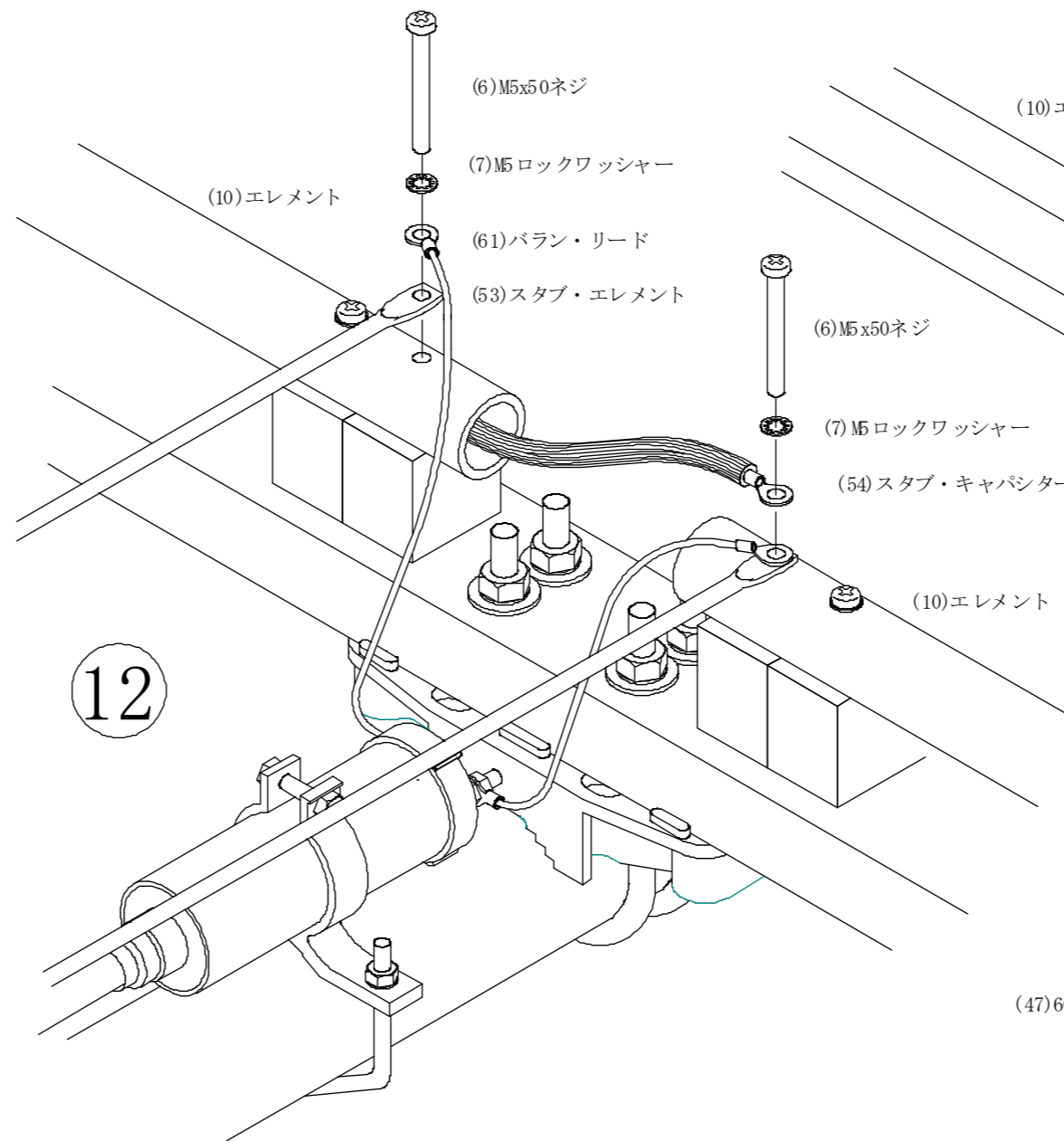
(60) バランの中央付近に(62)取付金具セットを仮止めし、バランをラジエーター直前のブーム上に(63) M5Uボルトで取付ます。(61) リード線をラジエーターに取付けた後、最終位置決めをして下さい。(61) リード線をバランに付属のM5ワッシャーとナットで取付ますが、この時ナットを締めすぎない様注意して下さい。あまり強く締めますとバラン内部を破損する恐れがあります。



10



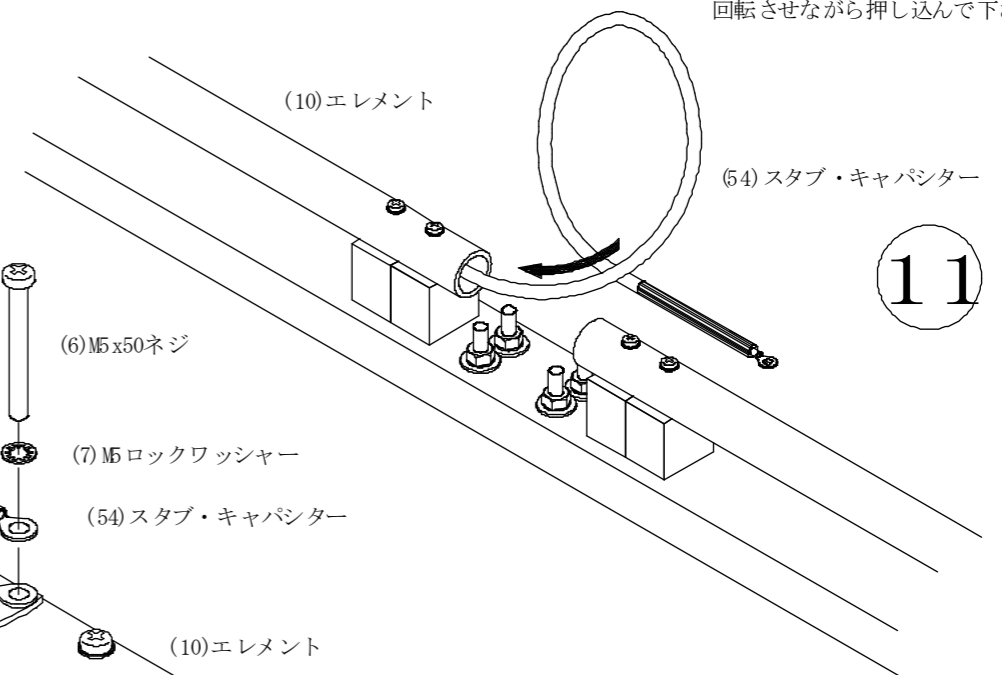
13



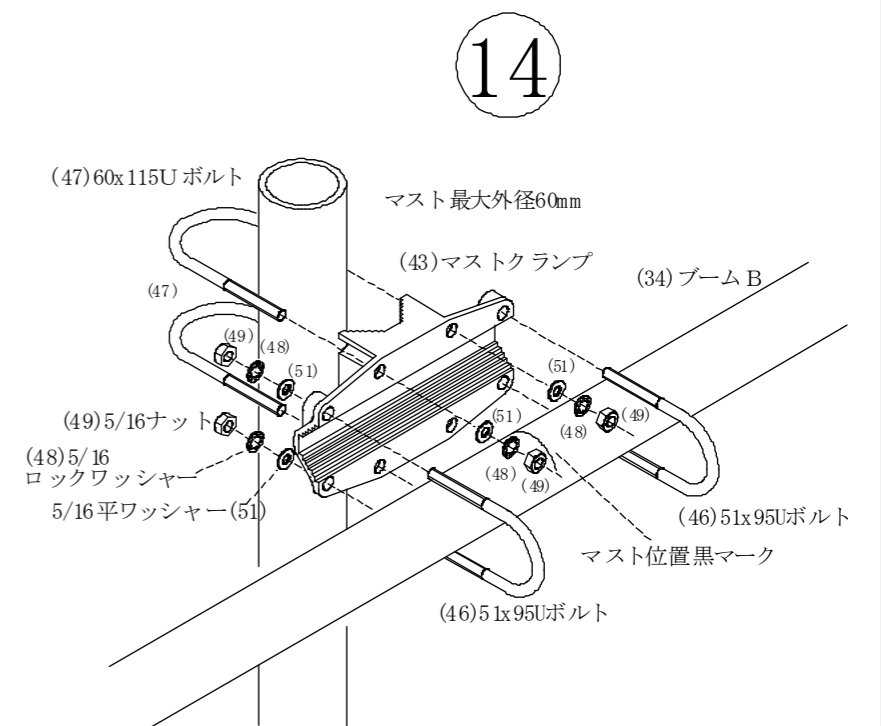
12

(10) エレメントの一番ブーム寄りの(6) M5x50ネジに(53) スタブ・エレメント、(61) バランリード及び(54) スタブ・キャパシターを上図の様に取付ます。

(54) スタブ・キャパシターを片一方の(10) エレメント (左右どちらでもかまいません) に差込みます。(6) M5x50ネジに当たり入り難い事がありますのでスタブ・キャパシターを回転させながら押し込んで下さい。



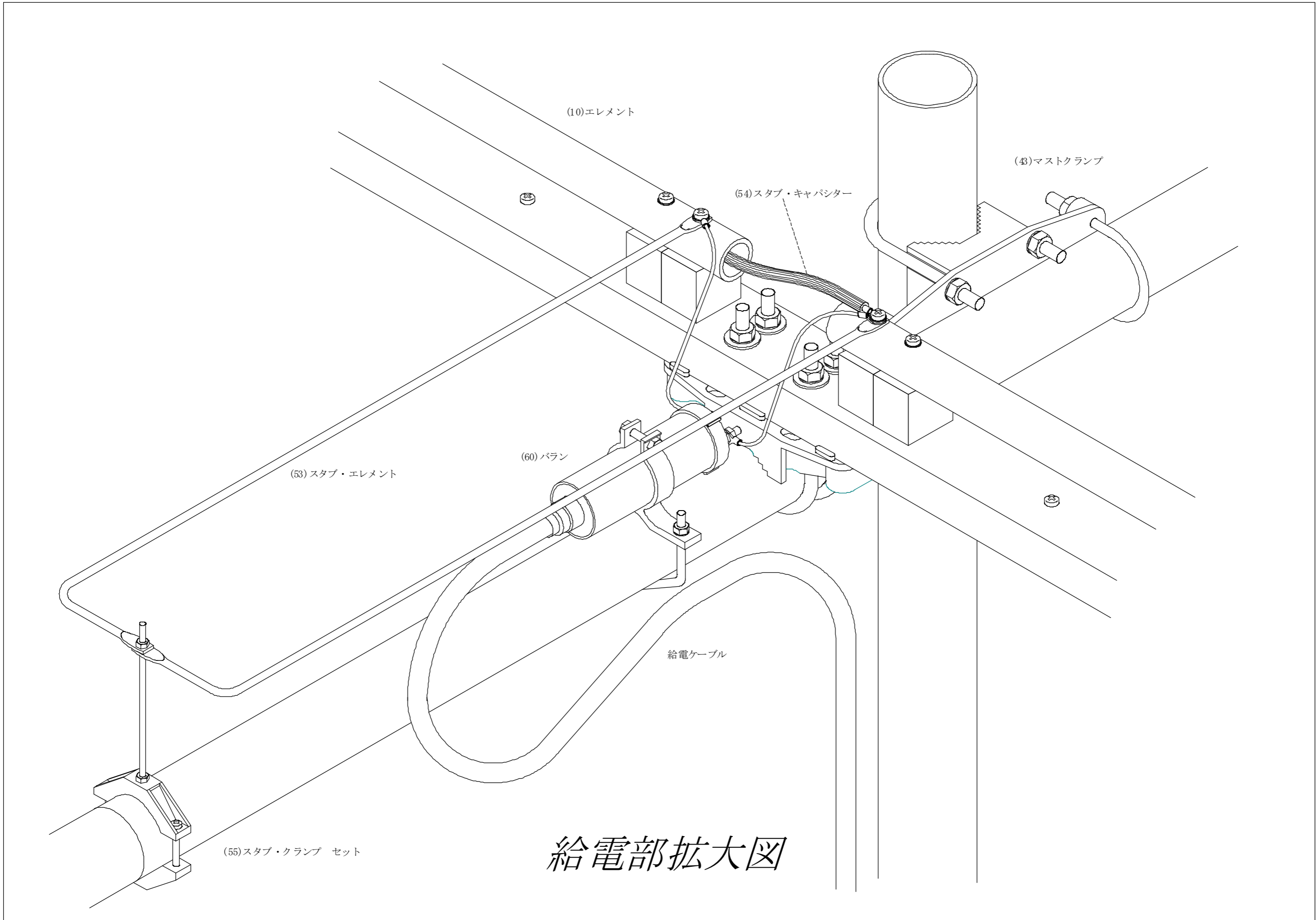
11



14

(34) ブームBのマスト位置黒マークを(43) マストクランプの中央に合わせUボルトで取付けます。

注 マスト取付位置は必ず指定の位置に合わせてください。位置を変更するとブームの強度が弱くなります。



給電部拡大図

